

最新医療機器更新、幅広い専門診療科にて 地域医療への貢献に務める



昨年9月に更新した最新鋭のMRI磁気共鳴装置

常に最新の標準的医療を提供できるようによう研鑽を重ね、さらなる医療水準の向上を目標に、胆振、日高地区の高度急性期医療を幅広い診療科で支える苦小牧日翔病院と、市内唯一の神経内科専門医が在籍し、脳や脊髄、筋肉などの神経症状、ALS等の難病にも対応する青葉病院。来年節目となる30周年に向け、館山理事長のもと、さらなる地域医療への貢献、患者サービスの向上を目指す。



超音波内視鏡を搭載した最新式機種を今年7月に導入

16年9月にMRIを更新(GE社製1.5テスラ)。従来の装置と比べ撮影時間が約25%短縮。高精細な画像を高画質かつ短時間で撮影することが可能となった。他に、64列マルチスライスCTや血管造影装置、マンモグラフィなど各種高度検査・治療機器を備え、今年8月には、内視鏡用カメラシステムを超音波内視鏡システム搭載の最新機種に更新。1



左は胆振、日高地区で初めて導入されたVビームレーザー
右は太田母斑やシミなどを治療するQスイッチレーザー

回の検査で、通常の内視鏡画像と超音波(エコー)画像を確認することで、より精度の高い内視鏡検査が可能となった。

市内唯一の形成外科は、今年7月から常勤医が増員され3人体制となり、また血管腫治療用レーザーを胆振、日高地区で初めて導入し、苦小牧にいなから『赤あざ(単純性血管腫・母状血管腫)』などの治療を受けられる体制が構築された。

道内3番目の患者数の透析センターは、様々な合併症を抱える透析患者にも各診療科の専門医の総合力で対応し、地域の透析センターとしての役割を担っている。

館山理事長は「常に最先端の医療機器を更新し、都市部との医療格差をなくし、誰もが全国標準以上の医療を受けられるよう、地域医療の貢献に努めていきたい」と話す。



理事長・院長
館山 美樹

1982年北里大学医学部卒業後、北大第3内科入局。道内主要病院勤務を経て1995年苦小牧日翔病院勤務。2005年同院副院長。2015年4月同院院長。2016年4月医療法人社団養生館理事長に就任。

医療法人社団養生館 **苦小牧日翔病院**

☎(0144)72-7000

苦小牧市矢代町2丁目9番13号

ホームページ <http://www.nisshou-hospital.jp/>

外科・内科・消化器内科・循環器内科・腫瘍内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・形成外科・リウマチ科・リハビリテーション科
麻酔科・透析センター

受付時間/
月～金曜 / 8:30～16:30
土曜 / 8:30～11:30

※24時間救急対応可能
診察時間や担当医は当日変更になる場合がございます。詳細は当日お電話(0144)72-7000にてお気軽にお問い合わせください。

休診日 / 日・祝日・年末年始
8/1(開院記念日)・8/16(お盆休み)

